

橋本市営墓園の現状と今後の在り方について

1. 橋本市営墓園の現状

橋本墓園は平成元年8月、高野口墓園は平成13年 8 月から使用開始されており、本市にお住まいの方や本籍のある方などにご利用いただいています。

全国的に少子高齢化や核家族化が進行する社会情勢において、お墓に関する考え方やニーズに変化がみられ、橋本墓園や高野口墓園のような従来型の個別の墓地ではなく、合葬式墓地や納骨堂、樹木葬を利用する方も増加しています。

本市においても例外ではなく、近年墓園利用者の減少がみられ今後の墓地経営について在り方を検討していく必要があります。

※橋本市営墓園利用者の推移(総数:1691 区画)

年 度	新規件数	返還件数	利用者数	利用率
平成 30 年	9	16	1,331	78.7%
令和元年	8	30	1,309	77.4%
令和 2 年	17	16	1,310	77.5%
令和 3 年	10	17	1,303	77.1%
令和 4 年	15	22	1,296	76.6%

※令和 4 年度については令和5年2月末までの実績数です。

<各墓園の内訳>

※橋本墓園(総数:1,272 区画)

年 度	新規件数	返還件数	利用者数	利用率
平成 30 年	8	13	1,110	87.3%
令和元年	6	29	1,087	85.5%
令和 2 年	13	15	1,085	85.3%
令和 3 年	7	14	1,078	84.7%
令和 4 年	8	19	1,067	83.9%

※高野口墓園(総数:419 区画)

年 度	新規件数	返還件数	利用者数	利用率
平成 30 年	1	3	221	52.7%
令和元年	2	1	222	53.0%
令和 2 年	4	1	225	53.7%
令和 3 年	3	3	225	53.7%
令和 4 年	7	3	229	54.7%

2. 橋本市営墓園の課題

お墓に関する考え方が変化している現状において、実際に本市の墓園利用者がどのように考えているかを把握するため「橋本市 お墓に関するアンケート」を実施しました。(アンケート結果の詳細については、別添報告書を参照。)

アンケート結果から、本市の墓園利用者は高齢化が進んでおり、単身世帯は本市全体の割合を下回るものの、核家族は本市全体の割合を上回っています。

現在のお墓の子孫への継承について積極的ではない人も多数みられることや、8割近くの方にお墓を引き継ぐ人が存在する一方で、4割以上の方が「墓じまい」を考えたことがあると回答されていることから、本市においてもお墓に関する考え方が変わってきていることが伺えます。

また、利用している墓園について多くの方の満足を得ることができていますが、交通に不便を感じていることや、自宅から遠いこと、管理状態が悪いと感じ満足していない人が多くみられており、墓園管理者として改善すべきことに対して取り組んでいく必要があります。

3. 今後の在り方について

お墓に関する考え方が変化してきている社会情勢を止めることは難しく、今後も墓地の返還が増えていくことはやむを得ないと思われれます。

新たな利用者確保に努めることはもちろんですが、返還件数をできる限り少なくすることを目指し、利用している人が不満に感じていることや困っていることで対処可能なものから順次解決していくことが必要です。

また、納骨堂や樹木葬など新たな形式での墓地を市で設置した場合、2割程度の方が利用を希望していますが、このままでは子や孫に迷惑をかけてしまうのではないかと不安に感じている人が多い一方で、引き継ぐ人がいないことで困っている人が1割以下であることなどから、将来を見据えて早い段階から「墓じまい」を検討している人が多いと推察され、現時点において早急に市営で納骨堂や樹木葬を設置する必要はありませんが、今後も5年程度の期間ごとに墓園利用者の意向等の状況を確認し、定期的に検討を行うことが必要と考えます。

なお、「墓じまい」を希望する人の半数以上が、永代供養としてお寺に供養をお任せしたいと考えていることから、市営で納骨堂や樹木葬等を設置した場合に供養ができるのか、できないのであれば年に1度程度の式典を行い供養に変えていくこととするか等を、他市の先行事例を参考にして併せて検討を行う必要があると考えます。